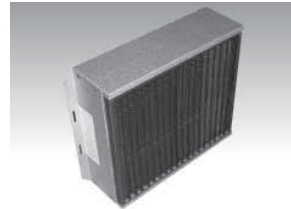


OMリターン用フィルタ 種類とお手入れ

リターン経路に設置して、ハンドリングボックスの熱交換コイルやファンをハウスダストから保護します。フィルタは後付けが可能で、お湯採りコイルの目詰まりを起こしにくくします。ハンドリングボックスやリターンダクトの設置状況に応じて下記の4種類をご用意しています。それぞれの設置については、施工工務店へご相談ください。

フィルタユニット

自立運転型ハンドリングに直接設置するフィルタユニット。フィルタの目詰まりによる風量の低下を抑える設計。



リターン用フィルタボックス

リターンダクトの途中に設置します。ダクト施工後の設置が可能です。



フィルタ付室内循環口

室内循環口(天井面や壁面)に設置します。フィルタは室内側で脱着できます。取り付けには設置面の開口工事がともなうため新築現場向きです。



フィルタ付室内循環口(角度変更可)

室内循環口(天井面や壁面)に設置します。ダクト接続口の角度を、垂直と45°に変えられるタイプです。



フィルタのお手入れについて

室内循環口を利用している場合は、カバー部分に室内の埃が付着するので、1年に1度程度は清掃を行ってください。

リターン経路にフィルタを設けると、お湯採りコイルに埃がつきにくくなります。このフィルタは、ご自身でもお手入れできます。汚れ具合をみながら定期的にフィルタの清掃を行ってください。

- 1 フィルタをはずします。
- 2 台所用(中性)洗剤を溶かしたぬるま湯にひたします。
- 3 水洗いしたあとよく乾かします。

※室内空気を循環させる室内の空気取り入れ口